



腹膜透析の 治療期間を考える

～透析液の選択：重炭酸透析液使用が10年を迎えた現状～

2024年

6月30日 日

12:30～13:20

第7会場

パシフィコ横浜ノース
3階 G318+G319

●本学術総会では整理券の配布は行いません。

司会

西野 友哉 先生

長崎大学病院 腎臓内科 教授

演者

池田 雅人 先生

東京慈恵会医科大学附属柏病院 腎臓・高血圧内科 教授

その患者さん、本当にPD終了が適切ですか？

森 建文 先生

東北医科薬科大学 腎臓内分泌内科 教授

生体適合高濃度ブドウ糖腹膜透析による
腎不全治療のパラダイムシフト

学会ホームページ
<http://jsn67.umin.jp>

